



日光市観光協会

日光市観光協会 マーケティングレポート

2026日光市 国内観光客分析 2月

2026年3月作成

データの注意事項

本レポートでは、一部の箇所で「市観光入込数（実績値）」との比較を行っていますが、人流データと市観光入込数は、算出根拠やデータ性質が根本的に異なるため数値が一致することはありません。以下の特性および定義の違いにご留意ください。

1. データ特性の相違

・母集団の特性（サンプルの偏り）

人流データは特定のアプリ利用やスマホキャリアの契約者に紐づくため、年代や利用スタイルによる偏りがあります。一方、市観光入込数は全住民や施設利用の実数を対象としています。

・計測定義の相違

人流データはGPSによる「位置情報」をベースにしていますが、市観光入込数は宿泊施設や観光施設入込数などの「確定した数」をカウントしています。

・推計値と確定値の違い

人流データは、一部のサンプルから全体を予測する「拡大推計」を行っているため、計算ロジックによって誤差が生じます。対して、市観光入込数は原則として積み上げ方式の「確定値」です。

2. 人流データにおける来訪属性の定義

本レポートの人流データでは、以下の定義に基づいて判定しています。

・旅行客：自宅から一定以上離れ、同一観光スポットに同日連続2回以上の位置情報が集計されることで判定

・日帰り客：夜間（翌日1:00～4:59）に位置情報が最も多く検知されたエリアが来訪者の発地と一致する場合、同日の旅程を「日帰り」と判定

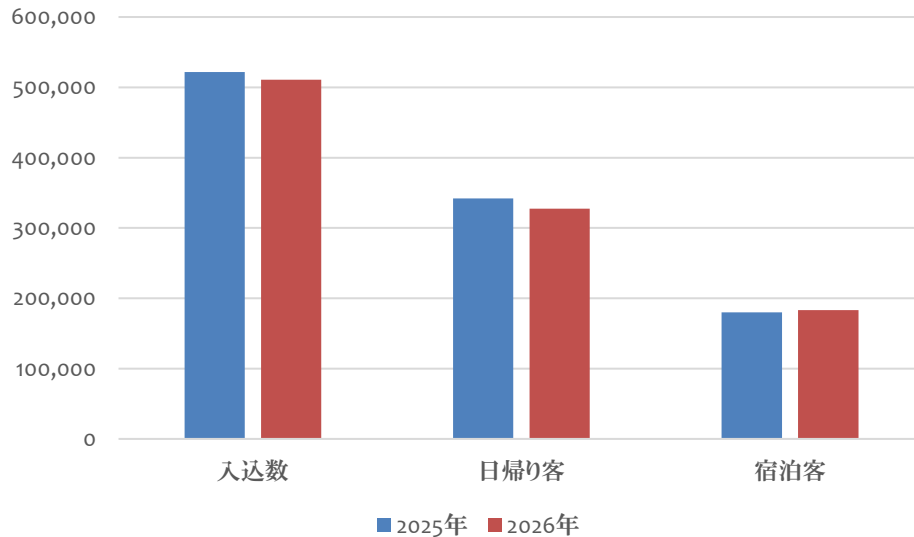
・宿泊客：夜間（翌日1:00～4:59）に位置情報が最も多く検知されたエリアが来訪者の発地と異なる場合、同日の旅程を「宿泊（宿泊日）」と判定し、最も多く検知されたエリアを宿泊市区町村と定義

1 日光市全体

➤ 2026年2月

	2025年	2026年	前年比	2025日光市観光入込数 (実数)
入込数	521,922人	510,753人	98%	-
日帰り客	341,827人	327,498人	96%	-
宿泊客	180,095人	183,255人	102%	-

※日光市観光入込数（実数）は、「日光地域」という区分で集計されています。これに対し、当協会では詳細な分析を行うため、独自に「日光エリア」および「奥日光エリア」の2つのエリアに区分して算出。



2月全体の入込数は前年比98%とわずかに減少となった。内訳を見ると、日帰り客も前年比96%と微減した一方で、宿泊客は前年比102%と増加に転じている。12月以降、「滞在型観光」へとシフトする傾向が続いている。今後は、増加傾向にある宿泊客に対し、夜間のアクティビティ拡充や連泊を促すコンテンツを提供することが、満足度向上も寄与する可能性は高い。

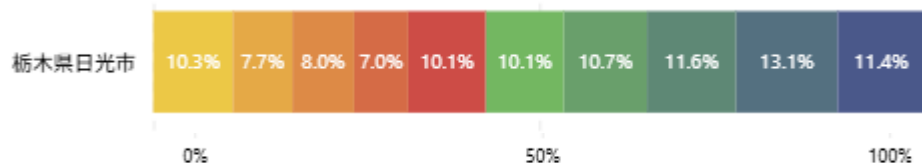
1

日光市全体

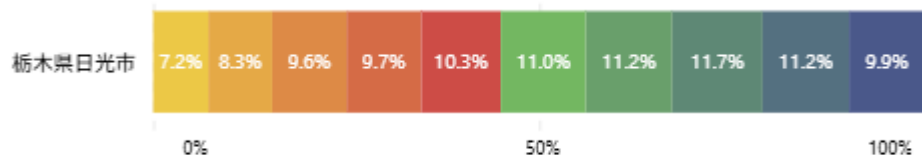
➤ 2026年2月

属性別構成

2026年2月



2025年2月



性年齢 ● 女20 ● 女30 ● 女40 ● 女50 ● 女60 ● 男20 ● 男30 ● 男40 ● 男50 ● 男60

発地ランキング

発地	来訪者数	シェア
東京都足立区	10,475	2.53%
埼玉県越谷市	8,487	2.05%
埼玉県川口市	7,247	1.75%
埼玉県春日部市	7,113	1.72%
千葉県松戸市	6,390	1.55%
東京都江戸川区	5,706	1.38%
千葉県柏市	5,697	1.38%
東京都大田区	5,397	1.31%
千葉県船橋市	4,873	1.18%
埼玉県草加市	4,846	1.17%
千葉縣市川市	4,811	1.16%

属性別構成について

前年同時期と比較して、女性は20代、男性は50代および60代の割合が大きく伸長した。

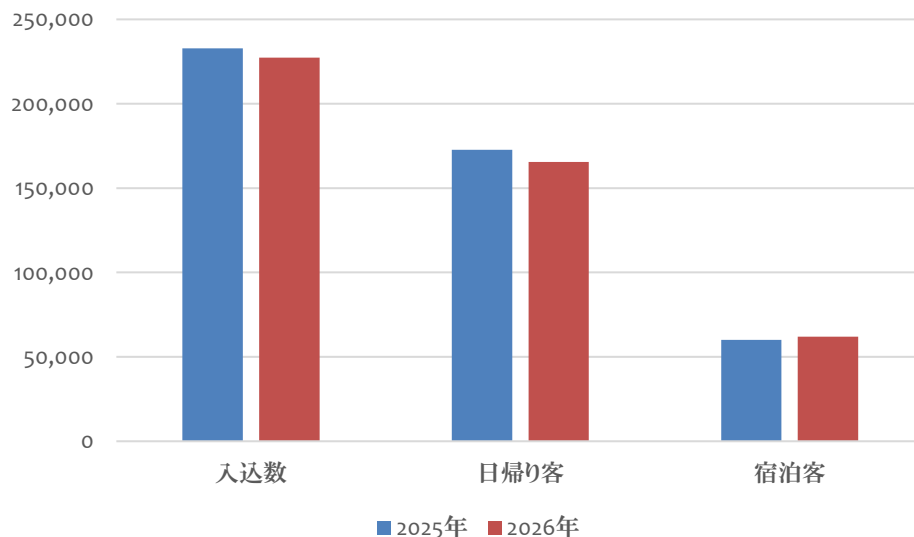
2

日光エリア（日光東照宮・日光山輪王寺・日光二荒山神社）

➤ 2026年2月

	2025年	2026年	前年比	2025日光市観光入込数 (実数) ※
入込数	232,743人	227,368人	98%	-
日帰り客	172,717人	165,466人	96%	-
宿泊客	60,026人	61,902人	103%	-

※日光市観光入込数（実数）は、「日光地域」という区分で集計されています。これに対し、当協会では詳細な分析を行うため、独自に「日光エリア」および「奥日光エリア」の2つのエリアに区分して算出。



入込数は前年比98%とわずかな微減にとどまった。内訳を見ると、日帰り客が前年比96%と微減した一方で、宿泊客は前年比103%と増加に転じている。

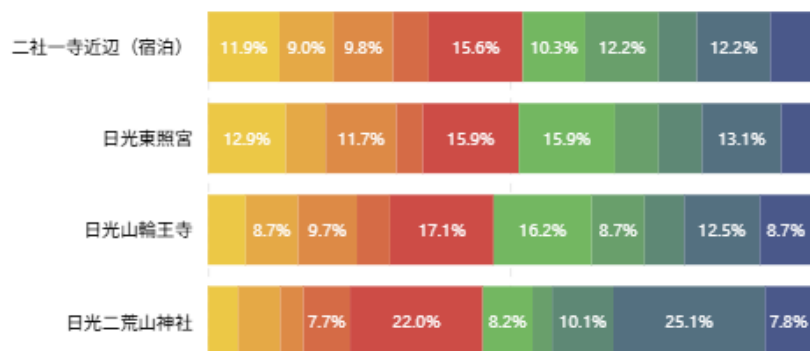
12月以降、「滞在型観光」へとシフトする傾向が続いている。今後は、増加傾向にある宿泊客に対し、夜間のアクティビティ拡充や、周辺スポットへの回遊による連泊を促すコンテンツを提供することが、満足度向上も寄与する可能性は高い。

2 日光エリア（日光東照宮・日光山輪王寺・日光二荒山神社）

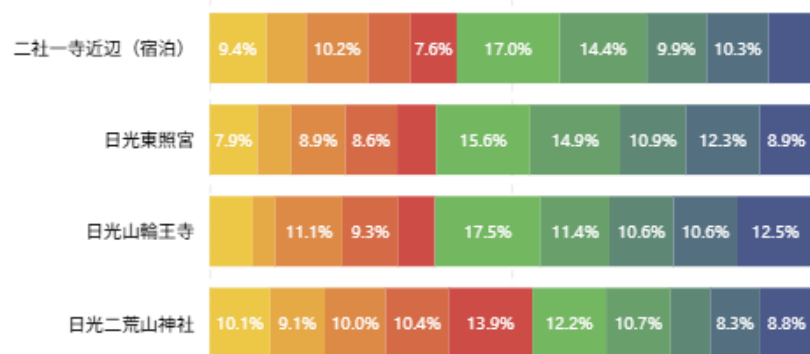
➤ 2026年2月

属性別構成

2026年2月



2025年2月



性年齢 ●女20 ●女30 ●女40 ●女50 ●女60 ●男20 ●男30 ●男40 ●男50 ●男60

発地ランキング

発地	来訪者数	シェア
東京都	35,471	17.33%
埼玉県	27,290	13.33%
神奈川県	25,960	12.68%
千葉県	18,543	9.06%
茨城県	8,169	3.99%
宮城県	7,968	3.89%
福島県	7,945	3.88%
群馬県	6,894	3.37%
愛知県	6,321	3.09%
大阪府	4,947	2.42%
新潟県	4,197	2.05%

属性別構成について

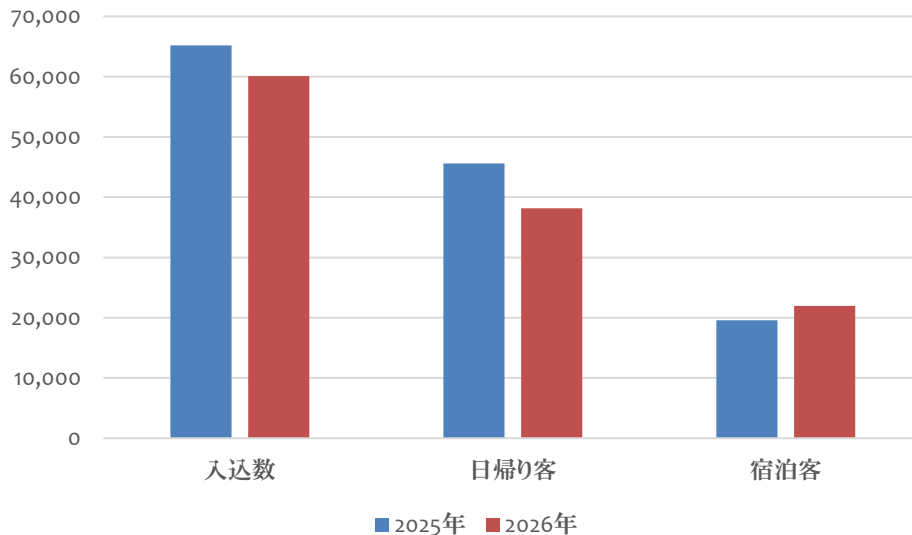
日光東照宮および日光山輪王寺では女性の割合が上昇し、特に日光東照宮では20代女性でその傾向が顕著となった。対照的に、日光二荒山神社では50代男性の割合が大幅に上昇している。

3 奥日光エリア (華嚴滝観瀑台・明智平ロープウェイ展望台・戦場ヶ原展望台・中禅寺湖展望台・湯元温泉)

➤ 2026年2月

	2025年	2026年	前年比	2025日光市観光入込数 (実数) ※
入込数	65,206人	60,090人	92%	-
日帰り客	45,612人	38,150人	84%	-
宿泊客	19,594人	21,940人	112%	-

※日光市観光入込数（実数）は、「日光地域」という区分で集計されています。これに対し、当協会では詳細な分析を行うため、独自に「日光エリア」および「奥日光エリア」の2つのエリアに区分して算出。



入込数は前年比92%と減少した。内訳を見ると、日帰り客が前年比84%と大幅に減少した一方で、宿泊客は前年比112%と大きく増加している。

12月以降、「滞在型観光」へとシフトする傾向が、奥日光エリアにおいては最も顕著に表れている。宿泊客の大幅増は、冬の奥日光ならではの静寂や温泉を目的とした滞在需要が堅調であることを示している。

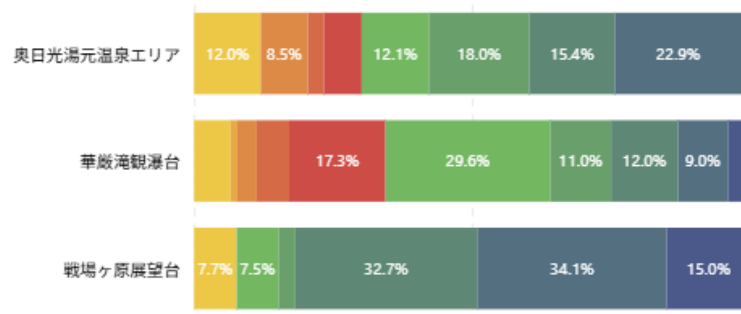
今後は、この高い伸びを示す宿泊層に対し、スノーアクティビティや星空観賞といった冬季特有の夜間コンテンツをさらに充実させることが必要なのではないか。

3 奥日光エリア (華厳滝観瀑台・明智平ロープウェイ展望台・戦場ヶ原展望台・中禅寺湖展望台・湯元温泉)

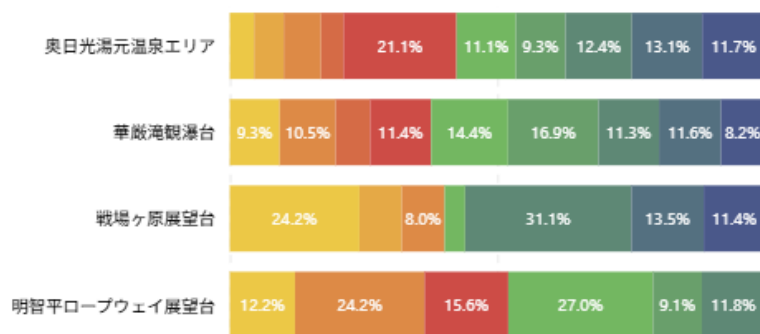
➤ 2026年2月

属性別構成

2026年2月



2025年2月



性年齢 ●女20 ●女30 ●女40 ●女50 ●女60 ●男20 ●男30 ●男40 ●男50 ●男60

発地ランキング

発地	来訪者数	シェア
東京都	8,936	19.24%
埼玉県	8,162	17.58%
神奈川県	7,472	16.09%
千葉県	6,998	15.07%
茨城県	3,946	8.50%
愛知県	2,381	5.13%
群馬県	1,894	4.08%
広島県	964	2.08%
福島県	925	1.99%
宮城県	644	1.39%
静岡県	624	1.34%

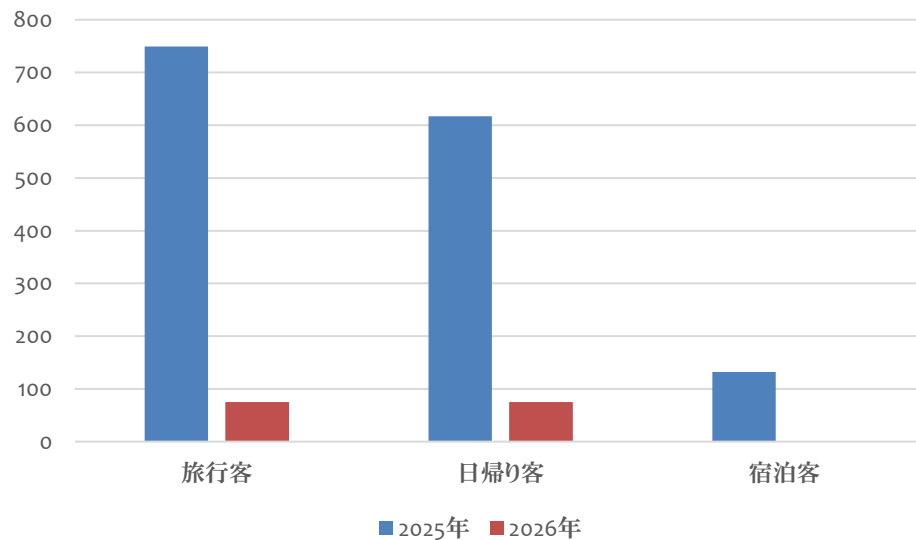
属性別構成について

全体では、女性20代や30代の若年・中堅層が縮小した。一方で、20代・30代の男性の割合が大きく拡大している。特に戦場ヶ原では、2026年に男性30代32.7%と40代34.1%と大部分を占めており、特定のスポットでの偏りが顕著となった。

4 足尾エリア（足尾銅山観光）

➤ 2026年2月

	2025年	2026年	前年比	2025日光市観光入込数 (実数)
旅行客	749人	75人	10%	-
日帰り客	617人	75人	12%	-
宿泊客	132人	0人	0%	-



参考値
一定数のデータがないため

4

足尾エリア（足尾銅山観光）

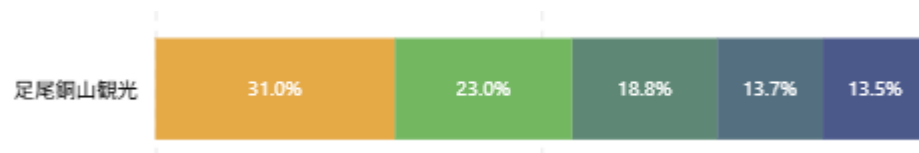
➤ 2026年2月

発地ランキング

属性別構成

2026年2月

2025年2月



参考値
一定数のデータがないため

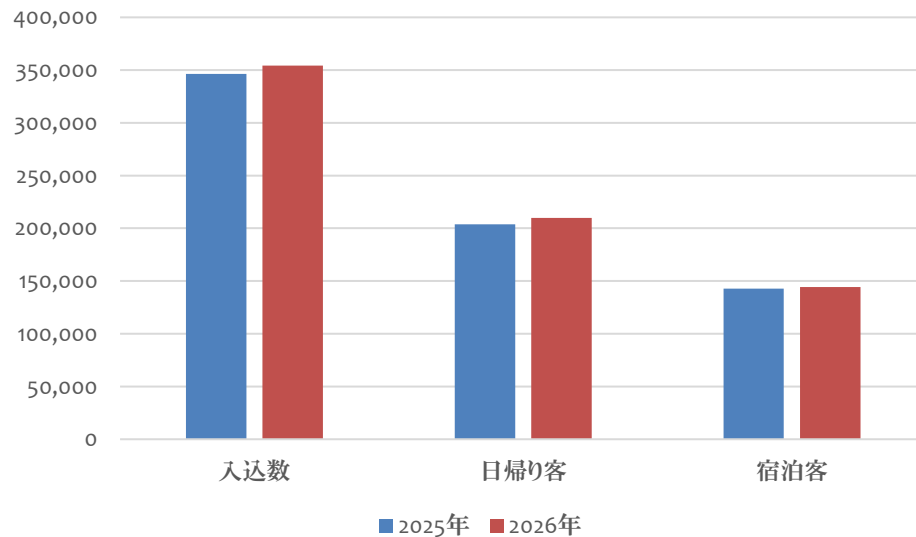
性年齢 ●女20 ●女30 ●女40 ●女50 ●女60 ●男20 ●男30 ●男40 ●男50 ●男60

5 鬼怒川・川治エリア (日光江戸村・東武ワールドスクウェア・龍王峡駅・鬼怒川温泉・川治温泉)

➤ 2026年2月

	2025年	2026年	前年比	2025日光市観光入込数 (実数)
入込数	346,446人	354,176人	102%	-
日帰り客	203,714人	209,747人	103%	-
宿泊客	142,732人	144,429人	101%	-

※日光市観光入込数（実数）は、「日光地域」という区分で集計されています。これに対し、当協会では詳細な分析を行うため、独自に「日光エリア」および「奥日光エリア」の2つのエリアに区分して算出。



入込数は前年比102%と増加した。内訳を見ると、日帰り客が前年比103%、宿泊客も前年比101%と前年実績を上回った。

他エリアで顕著だった「日帰り客の減少」が見られず、むしろ増加している点は、当エリアにあるテーマパーク等の集客施設が冬季においても安定した集客力を維持したか。

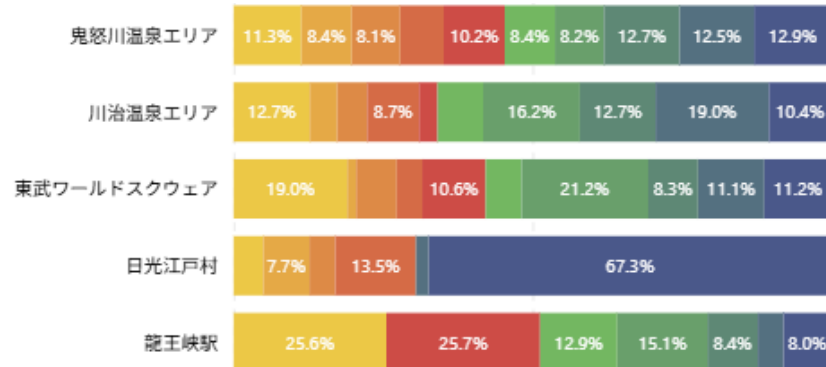
今後は、堅調な日帰り客を宿泊へ誘導する施策や宿泊客のさらなる満足度向上のためのコンテンツが求められる。

5 鬼怒川・川治エリア (日光江戸村・東武ワールドスクウェア・龍王峡駅・鬼怒川温泉・川治温泉)

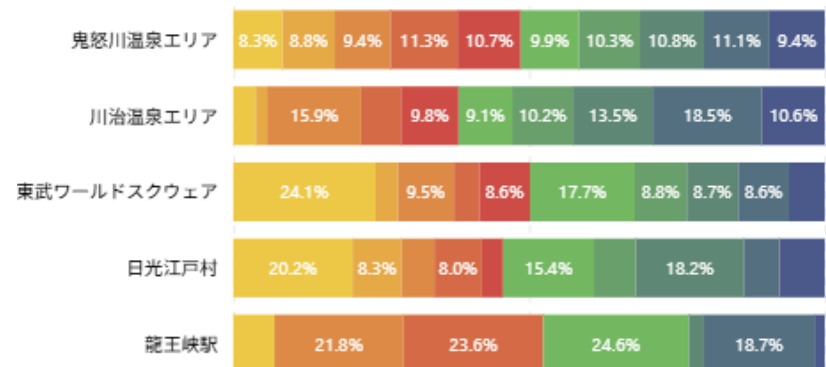
➤ 2026年2月

属性別構成

2026年2月



2025年2月



性年齢 ●女20 ●女30 ●女40 ●女50 ●女60 ●男20 ●男30 ●男40 ●男50 ●男60

発地ランキング

発地	来訪者数	シェア
埼玉県	69,802	23.36%
東京都	67,511	22.60%
千葉県	38,880	13.01%
神奈川県	37,394	12.52%
茨城県	18,449	6.18%
群馬県	9,672	3.24%
福島県	7,319	2.45%
長野県	4,733	1.58%
宮城県	4,635	1.55%
愛知県	3,395	1.14%
静岡県	3,298	1.10%

属性別構成について

施設ごとに客層の構成比に明確な特徴が見られた。日光江戸村では前年から客層が様変わりし、男性が半数以上を占める結果となった。一方、龍王峡では20代女性の割合が大幅に伸長している。

6

湯西川・川俣・奥鬼怒エリア（湯西川温泉）

➤ 2026年2月

	2025年	2026年	前年比	2025日光市観光入込数 (実数)
入込数	67,221人	53,063人	79%	-
日帰り客	41,444人	32,045人	77%	-
宿泊客	25,777人	21,018人	82%	-

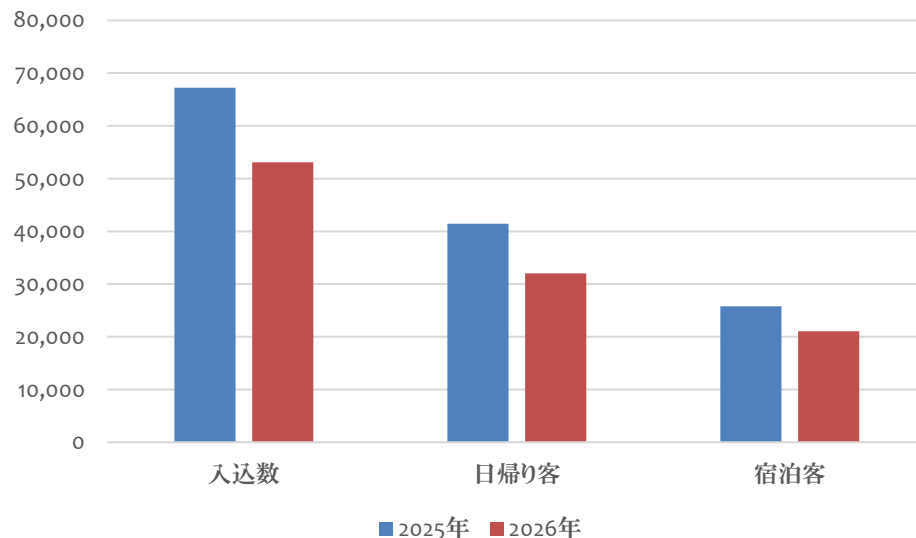
※日光市観光入込数（実数）は、「日光地域」という区分で集計されています。これに対し、当協会では詳細な分析を行うため、独自に「日光エリア」および「奥日光エリア」の2つのエリアに区分して算出。

入込数は前年比79%と減少した。内訳を見ると、日帰り客が前年比77%、宿泊客も前年比82%と減少。

<実数>

かまくら祭期間中の平家の里の入場者は、前年比約75%。湯西川・川俣・奥鬼怒観光案内所の窓口利用者は前年対比は80%だった。

また、旅館ホテルの宿泊状況は、前半は前年比減だったが、中盤から後半にかけて持ち直し、前年並みの宿泊者数となった。



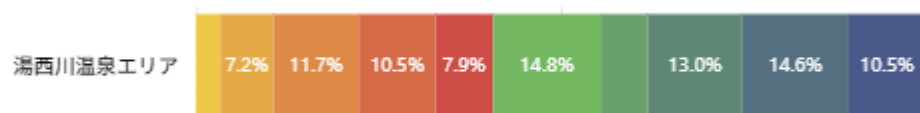
6

湯西川・川俣・奥鬼怒エリア（湯西川温泉）

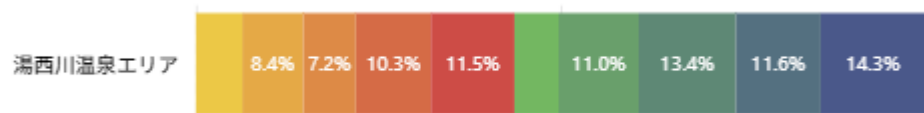
➤ 2026年2月

属性別構成

2026年2月



2025年2月



性年齢 ● 女20 ● 女30 ● 女40 ● 女50 ● 女60 ● 男20 ● 男30 ● 男40 ● 男50 ● 男60

発地ランキング

発地	来訪者数	シェア
埼玉県	9,231	22.50%
東京都	8,697	21.20%
神奈川県	7,983	19.46%
千葉県	4,929	12.02%
茨城県	3,515	8.57%
群馬県	1,404	3.42%
山形県	1,358	3.31%
静岡県	1,174	2.86%
福島県	718	1.75%
宮城県	432	1.05%
愛知県	369	0.90%

属性別構成について

男女比全体の構成に大きな変化は見られないが、年代別では、男性は20代、女性は40代の割合が前年を大きく伸長した。

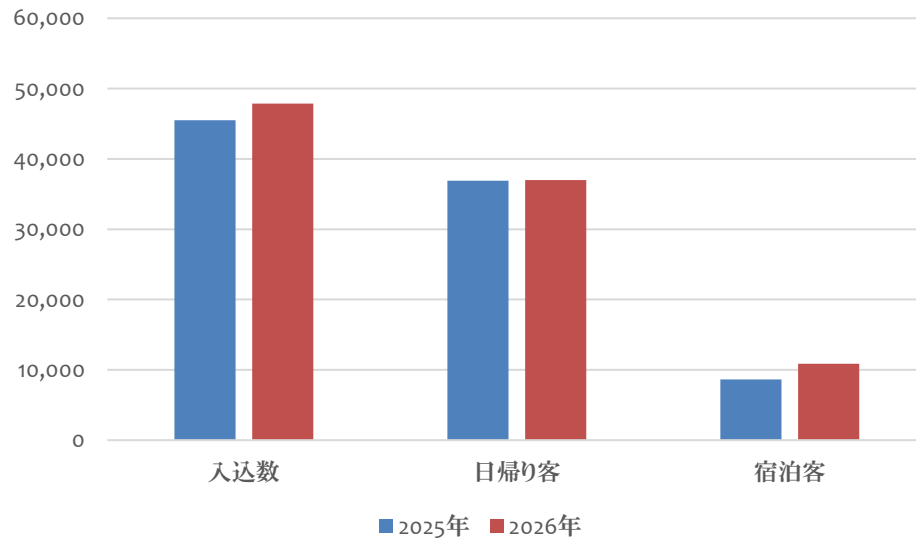
7 今市エリア（大笹牧場・日光だいや川公園・道の駅日光街道ニコニコ本陣）

➤ 2026年2月

	2025年	2026年	前年比	2025日光市観光入込数 (実数)
入込数	45,514人	47,872人	105%	-
日帰り客	39,883人	37,000人	93%	-
宿泊客	8,631人	10,872人	126%	-

※日光市観光入込数（実数）は、「日光地域」という区分で集計されています。これに対し、当協会では詳細な分析を行うため、独自に「日光エリア」および「奥日光エリア」の2つのエリアに区分して算出。

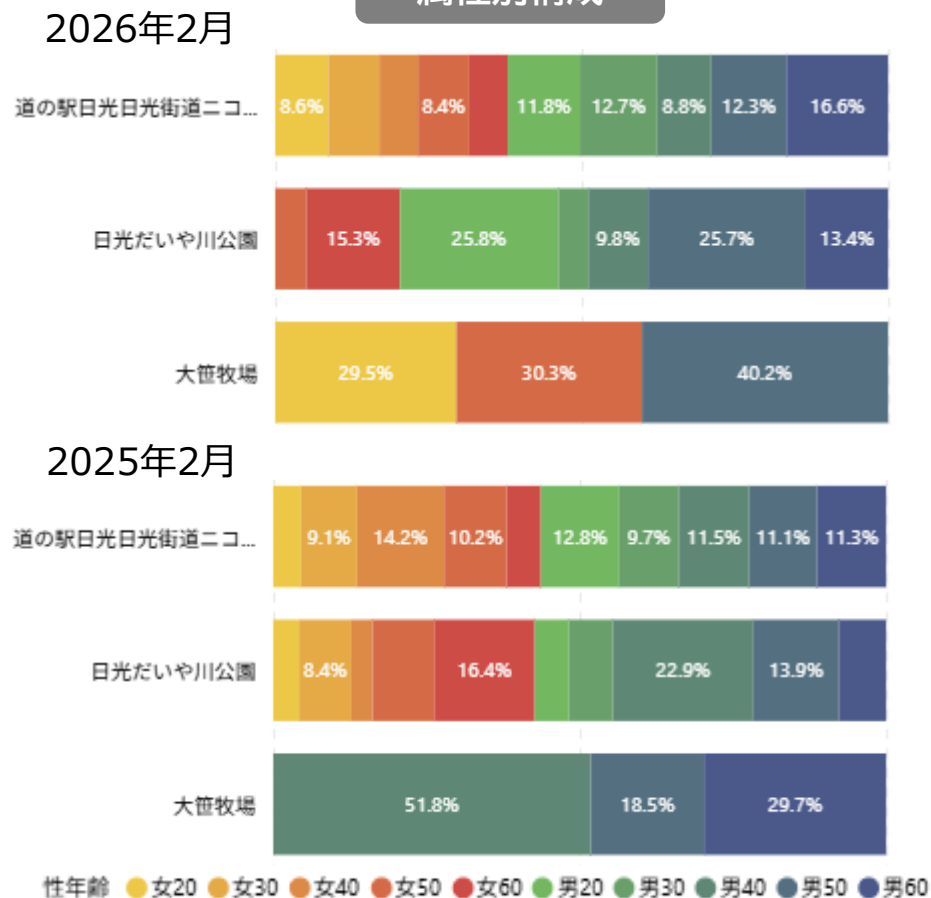
入込数は前年比105%と増加した。内訳を見ると、日帰り客は前年より減少した一方で、宿泊客は前年比126%と極めて高い伸びを見せている。エリア内の宿泊施設を利用する層が着実に増加していることを示唆している。今後は、地元飲食店との連携や夜間の飲食コンテンツをより充実させることで、地域経済へのさらなる還元と、リピーター獲得が期待できるか。



7 今市エリア (大笹牧場・日光だいや川公園・道の駅日光日光街道ニコニコ本陣)

➤ 2026年2月

属性別構成



発地ランキング

発地	来訪者数	シェア
埼玉県	7,726	23.00%
東京都	5,196	15.47%
茨城県	4,601	13.70%
千葉県	4,198	12.50%
神奈川県	3,742	11.14%
群馬県	1,950	5.81%
福島県	1,555	4.63%
宮城県	1,069	3.18%
愛知県	448	1.33%
新潟県	424	1.26%
岡山県	388	1.16%

属性別構成について

道の駅日光では男性の来訪割合が上昇した。また、日光だいや公園では20代および50～60代男性の割合が大幅に伸長したことで、男性比率が全体の8割近くに達した。



【ご注意：本資料の転載・複製での利用について】

- 本資料は、一般社団法人日光市観光協会の著作物であり、著作権法に基づき保護されています。
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要です。事前に当協会までご連絡ください。使用用途によって転載・複製をご遠慮いただく場合もございます、予めご了承ください。
- 本資料は当社が信頼できると判断した各種データに基づき作成されておりますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。本資料を利用する場合にはお客さまの判断で利用してください。



日光市観光協会

一般社団法人日光市観光協会

(本部)

〒321-1261 栃木県日光市今市717-1
道の駅日光 日光街道二コニコ本陣 観光情報館
電話：0288-22-1525 (代表)